

## 環境影響評価審査書に対する事業者の主な対応

006	東逗子住宅団地造成事業	
項目	審査書の指摘事項	事業者の対応
総括事項	<p>計画地は近郊緑地保全区域及びそれに接続する丘陵の一角に位置し、市街地に張り出した3本の尾根と小さな川と湿地がある2本の谷が入り組んだ変化に富む地形となっており、植生も多様であり比較的豊かな生態系を構成している。このような地域の開発に当たっては、基本的には環境条件を詳細に把握し、地域との係わりに配慮しながら地形改変は極力抑え、また改変部分は早期に豊かな自然の復元と創造への対応が必要である。</p> <p>また、田越川は過去にしばしば洪水が発生していることから、今後の河川改修計画を勘案し、より幅のある雨水調整が行われるよう配慮するとともに、盛土の安全性についても技術的な検討をする必要がある。</p>	<p>地域の特性を踏まえ、近郊緑地保全区域については、尾根部を中心に極力保存することとし、一部切土面積を縮小するとともに、残土処理のため埋土する部分については地形に変化をもたせ、沢部は樹種の配慮、湿潤な状態の保持を図り、将来的には周辺の植生環境と同一になるよう配慮する。</p> <p>また法面については計画高を抑える等安全対策を実施するとともに斜面植栽を施し比較的早期に周辺の環境になじむよう配慮する。</p> <p>さらに、田越川の流下能力に見合った許容放流量を求め、より幅のある雨水貯留が行えるよう小・中学校の校庭に予備の調整機能を持たせるよう逗子市と協議する。</p>
水象	<p>雨水排水計画については調整池を有効に機能させるため、調整池の調節容量に見合った雨水排水管の設置方法、及び雨水を道路面等を通じて適切に調整池に流入させる方法について検討すること。</p>	<p>田越川の河川状況等を考慮して調整池容量を算定したが、より幅のある雨水貯留が可能となるよう小・中学校の校庭に予備の調整機能を持たせる計画について逗子市と協議する。また実施区域内の雨水を適切に調整池に導くため、雨水排水管の算定方法を見直し管径に余裕をもたせること、道路面等のます蓋全てをグレーチング化したり各所に大型の横断グレーチング側溝等を設置すること、及び調整池への流入口は開渠にして間口を広くするなどの雨水集水対策を実施する。</p>
地象	<p>元木川にできる盛土斜面は高さが3.7mと高く、しかも住宅に近いことから、元木川盛土部はより安全性を高めるため、積極的に盛土高を低くするような方策を検討すること。</p> <p>切土部は岩盤の崩落や表面滑り等の斜面崩壊を防止するため、岩質、土質に応じた防止対策を検討し、現況のまま残る斜面についても造成工事により地盤条件が変化して斜面崩壊を起こすことも考えられるので、その対策について検討すること。</p>	<p>元木川盛土法面の計画高を2m下げるとともに、予測評価書案では法面傾斜を30度としていたが、より安全性を高めるため中段平坦部を廃止し、中段より上を緩やかな斜面傾斜15度とする。</p> <p>切土法面は表土の崩落を防止するため鋼製の枠を設置し水抜きパイプを設置した上で種子吹付を行い、法尻にはロックフェンスを設ける。現況のまま残る斜面については法面を整形し防護ネットで覆った後種子吹付を行い崩落を防止する。</p>
植物・動物	<p>実施区域内の近郊緑地保全区域については、ハイキングコースや市街地との関係を考慮しながら、極力現況のまま保全するよう検討すること。</p> <p>未利用地は将来的な土地利用が不明のため、長期的な自然環境としての保全が図られるよう土地利用の位置づけを明らかにするとともに、地形改変部分については現存植生、生態系等を重視し、地形の整形方法等にも留意して、早期に豊かな自然の復元が図れるよう配慮すること。</p>	<p>近郊緑地保全区域内にある中学校南側の法面はスダジイ林保全のため切土面積を縮小するとともに、計画区域南側の尾根を中心とする区域は現況のまま保全する。</p> <p>未利用地は復元緑地として位置づけ、埋土に当たっては防災上の安全性を考慮しながら標高80m程度の小山を造って地形に変化をもたせ、植栽は郷土種等を考慮して、尾根部にはスダジイを主木として常緑樹を植栽し、その他の部分には落葉樹を密植する。</p>

<p>景観・レクリエーション資源</p>	<p>二子山ハイキングコース、鷹取山、及び市街地等からの景観を詳細に調査するとともに、実施区域内の自然と地域住民のレクリエーションを通じてのかかわりを適切に把握して、景観等が著しく損なわれることのないよう対策を検討すること。</p>	<p>ハイキングコース等からの景観については、新たにフォトモンタージュや断面図による解析を行い、切土、盛土法面等が景観上大きな影響を与えないよう緑化等に配慮する。特に、元木川の盛土法面は緩い斜面をそのまま公園とし、樹木を多く植栽して新たなレクリエーション施設として機能させる。</p> <p>また道路についても実施区域中央を東西に横断して緑道を設け、進入路及び幹線道路の歩道にも緑化対策を実施する。</p>
----------------------	--	---